

# さんじょう 市議会だより

市民のくらしと三条市議会をつなぐ一冊

11.1

No.34

2019

Sanjo City Council

ひとこま

## 収穫・ 文化・芸術の秋!

実りの秋を迎え、さまざまな  
催し物が行われています。

はざかけ



三条楽音祭



燕三条 工場の祭典



三条市民茶会

## 今号の主な内容

### P.2~ 令和元年(2019年)9月定例会(9月3日~26日)

三条市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正  
県央基幹病院の基本計画とおりの整備を求める意見書 ほか

### P.4~ 市政を問う

大綱質疑:三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に  
関する基準を定める条例等の一部改正について ほか

討 論:平成30年度決算の認定について ほか

一般質問:食料自給率の低下 ほか

### P.12~ 報告

常任委員会審査レポート:ふるさと三条応援寄附金見直し後は減少傾向 ほか

決算審査特別委員会審査レポート:学校現場の多忙化解消に今後もシステム改善図る ほか

議会だよりへのご意見・ご要望は、こちらまで。  
電話:0256-34-5583 FAX:0256-33-8861  
メール:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

インターネットでも情報発信中!

三条市議会

検索

## 議会を傍聴しませんか?

次の定例会の  
開催予定は

12/3(火)~

令和元年(2019年) 9月定例会 全議案原案のとおり決定

第3回定例会は、9月3日から26日までの24日間にわたって開かれました。

市長提出議案は、「三条市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正」などの条例案件、市道路線の認定及び変更、下田地域交流拠点施設の農産物加工所の整備に係る経費やプレミアム付商品券の購入対象者の増加に係る経費など約1億3900万円を盛り込んだ「令和元年度三条市一般会計補正予算」、また平成30年度の各会計における決算の認定など12件が上程されました。

これらの議案は、各常任委員会ならびに決算審査特別委員会などでの審査を経て、採決の結果、全て原案のとおり可決、承認または認定しました。

このほか「県央基幹病院の基本計画」どおりの整備を求める意見書に加え、請願の採択に伴い、国会や関係行政庁へそれぞれ意見書を提出することにしました。

議案				会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
区分	番号	件名	審査した委員会	自由クラブ	清風クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
<b>(議員発案)</b>									
意見書	議発第1号	県央基幹病院の基本計画どおりの整備を求める意見書の提出について	基本計画どおりのスケジュールおよび規模で県央基幹病院を整備されるよう要望する意見書を提出するもの 提出先:新潟県知事		○	○	○	○	原案可決
	議発第2号	学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高校への助成の充実を求める意見書の提出について	私立高校生への就学支援金制度を拡充することなどの実現を要望する意見書を提出するもの 提出先:衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣		○	○	○	○	原案可決
	議発第3号	学費と教育条件の公私間格差是正に向けて、私立高校への助成の充実を求める意見書の提出について	私立高校生への県独自の学費軽減制度を拡充することなどの実現を要望する意見書を提出するもの 提出先:新潟県知事		○	○	○	○	原案可決
<b>(請願)</b>									
請願	請第7号	私学助成の充実を求める請願	私立高校における学費と教育条件の公私間格差を是正するため、私学助成の充実を求めるもの	総務文教常任委員会	○	○	○	○	採択



議案賛否一覧表

○: 議案に対して賛成  
×: 議案に対して反対

議案				会派名 (下段は所属議員数)					議決結果
区分	番号	件名	審査した委員会	自由クラブ	清風クラブ	日本共産党議員団	公明党議員団	無所属	
<b>(市長提出)</b>									
条例	議第1号	三条市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	災害弔慰金の支給等に関する法律等の一部改正に伴い、災害援護資金に係る償還金の支払猶予等の判断に際し、市町村は貸し付けを受けた者による報告などを求めることができるとされたことなどから、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	原案可決
	議第2号	三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について	子ども・子育て支援法等の一部改正による幼児教育及び保育の無償化の実施等に伴い、関係する条例について、必要な改正を行うもの 施行期日:公布の日等	総務文教常任委員会	○	○	×	○	原案可決
	議第3号	三条市印鑑条例の一部改正について	住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、旧氏を使用した印鑑の登録を認めるとするなどの国の印鑑登録証明事務処理要領の一部改正が行われたことから、本市においてもこれに準じ、必要な改正を行うもの 施行期日:令和元年11月5日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	原案可決
	議第4号	三条市給水条例の一部改正について	水道法等の一部改正に伴い、指定給水装置工事事業者(給水装置工事を適正に施行することができる事業者として水道事業者の指定を受けたものをいう。)に対する更新制度が導入されることなどから、必要な改正を行うもの 施行期日:令和元年10月1日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	原案可決
	議第5号	三条市火災予防条例の一部改正について	消防法等の規定に違反する防火対象物の消防用設備等の状況を市民に公表することにより、当該防火対象物を利用しようとする者の防火安全性の判断に資するとともに、当該防火対象物の関係者による防火安全体制の確立を促すことから、必要な改正を行うもの 施行期日:令和2年4月1日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	原案可決
その他	議第6号	市道路線の認定及び変更について	認定路線 6路線 実延長 819.0m 変更路線 1路線 実延長(増加分) 12.9m	経済建設常任委員会	○	○	○	○	原案可決
予算	議第7号	令和元年度三条市一般会計補正予算	補正額 139,708千円 補正後の額 53,622,387千円	総務文教常任委員会 市民福祉常任委員会 経済建設常任委員会	○	○	○	○	原案可決
	議第8号	令和元年度三条市介護保険事業特別会計補正予算	補正額 200,103千円 補正後の額 9,913,311千円	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	原案可決
その他	議第9号	平成30年度三条市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	1 当年度未処分利益剰余金 140,427,152円 2 利益剰余金処分額 利益積立金 140,427,152円 3 翌年度繰越利益剰余金 0円	経済建設常任委員会	○	○	○	○	原案可決
報告	報第1号	専決処分報告について(三条市民プールの指定管理者の指定について)	三条市民プールの指定管理者であった共同企業体を構成する一者が廃業したことに伴い、当該共同企業体による当該施設の管理運営が困難になったことから、その残余期間について、指定管理者として環境をサポートする株式会社きらめきを指定したものの指定の期間:令和元年7月5日から令和2年3月31日まで 専決処分日:令和元年7月5日	市民福祉常任委員会	○	○	○	○	承認
	認第1号	平成30年度決算の認定について(三条市一般会計及び各特別会計)	(一般会計) 支出済額 47,213,838,633円 (特別会計) 支出済額 21,917,099,340円	決算審査特別委員会	○	○	×	○	認定
算	認第2号	平成30年度決算の認定について(三条市水道事業会計)	収益的収支決算額 支出 1,978,703,508円 当年度純利益 140,427,152円 有収率 91.8%	決算審査特別委員会	○	○	○	○	認定

県央基幹病院の基本計画どおりの整備を求める意見書

県は、平成28年7月に策定した県央基幹病院整備基本計画(以下「基本計画」という。)に基づき、救命救急センターを併設した基幹病院の令和5年度早期開院に向け、用地造成工事を基本計画どおりに進めており、来年度から本体建設工事の着工段階となっている。

しかし、県財政の悪化や県立病院の赤字運営を背景に、花角知事は6月県議会において、行財政改革有識者会議の議論を踏まえ、基本計画の検証を行う必要があるとの考えを示し、順調に進んでいた県央基幹病院の整備について、見直しの検討が行われているところである。

県央医療圏の課題である圏外への救急搬送割合は、基本計画策定時点(平成26年)の18.6%が、平成30年には25.8%と他圏域とは桁違いに高く、4年前に比べて7.2ポイント高く上がり続け、県平均の5.5%に比べても20.3ポイント高い状況で、救急搬送時間も長時間化している。

県央医療圏において地域住民が求めているものは、救命救急センター機能を併設した病院であり、また、医師及び看護師の確保並びにその体制維持のためには、450床の病院が必要である。

基本計画で示された病院の機能と規模は、地域住民の命を守るために不可欠であり、医療環境の整備と県財政のことを同じ土俵で議論されるべきものではなく、基本計画どおりのスケジュール及び規模で県央基幹病院を整備されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

「提出先」新潟県知事

三条市議会議長 阿部銀次郎

# 大綱質疑

9月定例会では、  
4会派が大綱質疑  
を行いました。

## 議第2号

**三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について**

**Q** 幼児教育、保育の無償化は、消費税の引き上げに伴い10月から実施されるものだが、無償化の対象となる子供や施設などの要件、対象となる子供の人数、保護者の負担額など、無償化の概要はどうか。

**A** 幼稚園、保育所、認定こども園などを利用する3歳から5歳までの全ての子供および0歳から2歳までの子供のうち、市民税非課税世帯を対象とするものであり、10月1日時点の対象者は2149人となる見込みだ。また、新設の子育てのための施設等利用給付により、国立大学付属幼稚園、私立幼稚園の預かり保育などにおいて上限額まで利用が無償となるものであり、10月1日時点で65人が対象となる。

ものと見込んでいる。

**Q** 改正では、幼稚園や保育所などの保育料が無償化される一方、今まで保育料に含まれていた給食の副食費は実費徴収される。所得の低い世帯では実費徴収により無償化の恩恵を感じない世帯も出る可能性があるのではないか。

**A** 所得の低い階層は副食費の免除対象となるため、これまでと比較して負担増になることはない。

## 議第3号

**三条市印鑑条例の一部改正について**

**Q** 印鑑登録証明書の公的証明書に旧氏を併記できるようにした経緯とその効果について、併記を希望する見込み者数について伺う。

**A** 国では、女性活躍の視点に立った制度を整備しており、旧氏を

使用し活躍する女性が増加している中、住民票やマイナンバーカードに加え、印鑑登録証明書にも旧氏を併記できるようにしたもので、改めて新しい氏で印鑑登録をし直す必要がないため負担軽減になる。平成30年度では、結婚などにより印鑑登録をし直した件数が29件あったことから、年間での内数(うちすう)程度を想定している。

## 議第7号

**令和元年度三条市一般会計補正予算**

**Q** 地方債約8000万円の減額補正後の市民1人当たりの負担額について、また、県民1人当たり、国民1人当たりの負担額について伺う。

**A** 年度末における市民1人当たりの残高負担額は約96万円、県民1人当たり約109万円、国民1人当たりは約983万円である。

## 認定第1号

**平成30年度決算の認定について**

**Q** 決算の不用額について、予算に比較して不用額が多い戸籍住民

基本台帳費、住宅費、社会教育費の主な要因は何か。

**A** 戸籍住民基本台帳費は、個人番号カードの発行枚数の実績が大きく下回ったため。

住宅費は、市営住宅の耐震改修工事の実設計委託を来年度に見送ったことと、月岡八珍住宅および藤平住宅の解体工事で請負差額が生じたため。

社会教育費は、旧三条小学校解体工事および遺跡発掘調査業務委託に請負差額が生じたため。

**Q** さんじょう一番星育成事業・学びのマルシェの成果は上がっているのか。

**A** 塾委託および市民ボランティアによる教室ともに定員には達しなかったが過去最多の参加者になった。塾委託は委託業者を変更したことにより、学力の伸びや学習意欲の向上に一定の成果があった。

**Q** 商工費の地域ブランド推進費の中で、首都圏などに向けて三条産品、観光資源およびものづくり文化の発信を行っている。シテイセールス事業の中で、昨年度取り組んだ新たな事業は何か。

**A** 昨年度は粟ヶ岳、棚田、吉ヶ平、鍛冶道場などを撮影し、グーグルストリートビューで公開した。同時に市のホームページの観光サイトにも掲載したところ、施設などの具体的なイメージがつかめると評価を頂いている。

**Q** 燕三条地域のものづくりの歴史や文化を発信することを目的に、イギリスのジャパン・ハウスロンドンに展示した内容や評価はどうであったか。

**A** 企画展については、「燕三条—金属の進化と文化」をテーマとして、当地域のものづくりの進化について、社会の変化に適応してきた歴史を展示するとともに、40名を超える燕三条地域の職人が現地に行き、実演やワークショップを実施した。英国王室ウィリアム王子をはじめとして、来場者は延べ2万5000人を超え高く評価された。また、企画展終了後、現地イギリスの鍛冶職人との新たな交流が始まったほか、英国王立美術大学の学生が燕三条地域を視察に訪れるなど、企画展の開催を契機としたつながりが続いている。



※○：会派の代表者

## 会派所属議員

自由クラブ	○久住 久俊	阿部銀次郎	佐藤 和雄	森山 昭	武石 栄二	野崎 久雄	馬場 博文
清風クラブ	○西川 重則	横山 一雄	山田 富義	岡田 竜一	名古屋 豊	酒井 健	
日本共産党議員団	○小林 誠	西沢 慶一	坂井 良永				
公明党議員団	○野崎 正志	笹川 信子					
無所属	佐藤 宗司	長橋 一弘					



日本共産党議員団

議第2号 三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

この改正案は国の消費税増税を発端としたものである。消費税は低所得者ほど負担が重くなる逆進性を持つ税金である。消費税増税を財源にし、低所得者層への負担を押しつけることは認められない。

3歳児から5歳児の副食費の実費徴収の実務は各保育園が負担することになる。未納が生じた場合など保育園にとっては大きな負担になる。副食費は公費で負担するべきだ。

認定第1号 平成30年度決算の認定について

歳出の一般任用職員報酬については、行政が率先して不安定雇用を進めていることであり認めることはできない。

商工会議所振興事業補助金で行っている事業は、三条市が広く市内の商工業者に責任をもって実施するべきだ。

さんじょう一番星育成事業は公教育がやるべき事業ではない。エリート養成ではなく、全ての子供たちの学力を伸ばすシステムづくりに転換するべきだ。

法律コンサルタント業務委託料はプール裁判控訴の弁護士費用であるが、裁判所には「控訴人の本件控訴には理由がない」と門前払いされた。無駄と指摘したのに専決処分までやった支出であり認めるわけにはいかない。

自由クラブ

議第2号 三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

消費税率の引き上げは国会において議論され可決されたものであり、三条市議会はそれについて議論する場ではなく、引き上げられた消費税が財源だから幼児教育の無償化に反対だという論理は成立しない。

認定第1号 平成30年度決算の認定について

財政調整基金残高は財政シミュレーションと比較し約10億円積み増している。他の指標も想定内となっており、財政は適切にコントロールされている。前年度決算で経常収支比率の高さを指摘したが、今年度は1.2ポイント改善され94.7%に低下した。ただ、依然として高水準であり、より強固な財政基盤を確立していただきたい。

また、前年度決算と比較して一般会計の執行率は低下し、翌年度繰越額及び不用額は増加している。より適切な予算作成と予算執行を行うよう要望する。

さらに、国民健康保険事業、介護保険事業で余剰金、水道事業で純利益が生じている。保険料や使用料の引き下げは簡単ではないが、市民負担の軽減が行政の原則であると再認識し事業運営に当たってもらいたい。

一般会計及び各特別会計は、予算執行上瑕疵なく認定すべきもの。

議員のQ&A 三条市の一般質問

一般質問

～9月定例会ダイジェスト～

食料自給率の低下

Q 日本の食料自給率が過去最低の37%まで低下した。下落傾向を止められなければ食料安全保障に支障が出る。米の消費量が減り続けている下で畑作園芸や畜産との複合経営も求められている。三条市の農業振興をどのように進めようとしているのか。

A 農業振興については消費者ニーズを的確に捉えた経営となり得るよう支援をしていく。

Q 日米貿易協定交渉で大筋合意の報道がある。日米貿易協定による農産物輸入についてどのように考えるか。

A 日米貿易協定交渉については、今後国で議論されるもの。



食料自給率が過去最低になったが

保育施策について

Q 保育が無償化となるが副食費は実費徴収となる。副食費の滞納があった場合は保育所に負担がかかる。副食費の減免をすべきではないか。

A 市として副食費の減免は考えていない。副食費の徴収管理は各施設が行う。

Q 保育士不足は深刻だ。保育士資格を持つ人は120万人もいるのに、保育所に勤務する人は3人に1人しかいない。保育士の過酷な労働実態をつかむ必要があるのではないか。

公営住宅のエアコン設置について

Q 公営住宅を申し込むときに、エアコンについて説明があったか。

A 入居の段階では住宅にはエアコンがついていない、入居者に負担してもらおう旨を説明している。

Q 設置する時、契約アンペアの変更はどうするのか。

A 市に申し出て、東北電力に変更の旨を伝える。壁に穴をあける場合、退去するときに修復しなければならない。

幼児教育・保育の無償化について

Q 10月から始まる制度について、多子世帯3歳未満児の保育料の軽減措置はあるのか。

A 保育料の第1子は満額、第2子は半額、第3子以降は無料という考え方は変わらない。3歳以上児の副食費については、8月末に通知したところである。



10月から幼児教育・保育の無償化がスタート

Q 地域型保育事業について、無償化となるのか。

A 保育園、幼稚園、認定こども園と同様に無償化の対象となる。

成年後見制度について

Q 認知症や障がいのある人が成年後見制度を利用した場合、制度利用者の権利を制限してきた欠格条項が一律に削除された。必要な能力の有無を判断する個別審査規定に改められた。どのように捉えているか。

A 成年後見制度の利用を必要とする方が、欠格条項による失職や資格の剥奪などを心配することなく制度

利用できるようになるものと捉えている。

### 市長の市政に対する姿勢、態度について

**Q** 嵐南小学校・第一中学校プール損害賠償裁判の進捗状況はどのようになっているのか。

**A** 9月4日東京高裁にて「控訴棄却」の判決が出た。

**Q** 今後どうするのか。

**A** 弁護団と調整し9月13日の総務文教常任委員協議会で報告する。

**Q** 一昨日判決が出たにもかかわらず9日間も引っ張るつもりか。

**A** 慎重に検討している。

**Q** なぜ全議員がそろっているこの場で報告できないのか。

**A** 所管の常任委員協議会で報告する。

**Q** 三条昭栄開発株の解散、清算手続きにおける嫌疑について伺う。

**A** 株主だったとはいえ法人格が違う会社について三条市としては答弁できない。

**Q** 薫風櫻花塾問責状に対して、その後どのような処置をしたのか。

**A** 不正、不法なことはしていない。辞任の時期について伺う。

**A** 今明確には答えられない。それ以上でもそれ以下でもない。

### 県央基幹病院について

**Q** 県の行財政改革「有識者会議」は、県立病院の再検討と県央基幹病院の即刻見直しを表明した。三条市は「財政難だから、見直すのは筋違い」との立場を表明したが、今後どのように対応していくのか。

**A** これまでも知事には、県央地域の救急体制が脆弱なことと、議論の積み重ねを伝えてきた。今後にも必要に応じ環境整備に向け取り組む。



医療圏別救急搬送状況

### 後期高齢者医療保険料などの滞納処分について

**Q** 保険料の滞納処分件数が制度開始以来全国で約8倍に増えた。滞納者は年金天引きにならない普通徴収の低所得者たちだ。三条市の現状と滞納者に対する対応はどうか。

**A** 滞納者は減少傾向だが滞納処分者数は横ばい。納付相談に応じない方に対して、法に基づき財産の差し押さえをしている。

### さんじょう一番星・学びのマルシェについて

**Q** 学びのマルシェは、学習塾の協力を得ながら、将来難関大学に合格する学力を身に付けるとして始めたが、教育委員会の仕事ではない。開始から6年、大学入学の結果はどうか。今後、塾委託は中止すべきではないか。

**A** 事業開始初年度の受講生が大学入学を迎え、筑波大学、千葉大学などに合格した。現時点で検証するには不十分で、評価するには不適切である。

### 災害等緊急時に対応できる道水路整備について

**Q** 緊急車両が進入できる道路整備について、各自治会からの相談には速やかに現場確認対応をお願いしたい。集中豪雨に備え、各自治会で地域の水路等の状況を把握し市に要望しているが、自治会が地域で助け合っ

て管理すべきであり、自治会に管理をお願いできないか。

**A** 対策が必要な箇所については、地元自治会の意見を踏まえ検討する。日常的な管理については、各自治会による対応はさまざまであるが、今後も地域活動にご理解とご協力をいただけるよう働きかけていく。

### 買い物難民対策

**Q** 下田地域唯一の本格的スーパーが閉店し、生活に支障を来している。対策を考えているのか。

**A** 閉店の影響は認識しており、早期に改善の必要があると感じている。まずは民間の動向を注視し、適宜適切な判断、検討を行う。

### 県の財政危機、三条市への影響は？

**Q** 県補助事業への影響が出た場合、どのように対応するのか。

**A** 県の行財政改革推進会議の方向性を見極めていく必要があるが、県下の市町村全てに関係する問題であり、市長会・町村長会などで統一的な活動をしていくことになると考えている。

**Q** 県央基幹病院について県とどのような意見交換をしてきたのか。

**A** 7月に開催された知事と5市町村長との懇談会での「これまで積み重ねてきた議論を尊重し、スケジュール通り令和5年までに整備してほしい」と異口同音の意見に対し、知事は「まずは立ち上がっているさまざまな県の検討組織の議論を見据える」とのことだった。5市町村長の危機意識は十分に伝わったと認識している。

### 新しい図書館の運営、誰がする!?

**Q** 指定管理者制度もさまざまな課題がある。令和4年度の供用開始を目指す図書館等複合施設はその性格上、市直営とするべきではないか。

### 保育所(園)における有機米の活用

**Q** 今年度は下田地域だけだったが今後拡大するのか。

**A** 有機米の生産量増加に合わせ拡大する。

**Q** 必要数量確保に向けた取り組みはどうか。

**A** 経費などの補助を行い供給量の増加を図る。

### 入札制度について

**Q** 品確法が改正され、建設業の働き方改革の推進、調査業務なども対象となったが、対応をどう考えているのか。

**A** 市の最低制限価格は法律の趣旨に合致している。他自治体や社会情勢などを踏まえ必要に応じ見直しを行う。

### 指定管理者制度について

**Q** 構成員となっている団体の与信の確認はしているのか。

**A** 導入時、更新時に経営状況を審査しているが、安定的な施設運営の方策を研究する。



旧三条小学校跡地に建設予定の図書館等複合施設

### 八十里越の開通を間近に控えての取り組みについて

**Q** 国道289号八十里越の開通が現実的なものとなり、下田地域が福



秘境八十里越体感バスの様子

島側側の玄関口になる。観光対策として、秘境と銘打たれるほどの自然環境があり、その資源を生かす施設整備の検討はどうか。

**A** 立ち寄りスポットの整備に合わせ公衆トイレの設置を検討している。下田郷の自然を生かす有機米の生産、放牧畜産、各種取り組みを有機的に結び付け、ひいては定住人口の拡大につなげたい。足湯については、温泉のくみ上げ量の減少のため、温泉としてのサービスと安定供給を慎重に検討する。

## 保育士の確保

**Q** 待機児童の状況と解消するために加配する保育士の確保はできたのか。

**A** 加配保育士を確保できなかったことが原因で10月1日時点で6人発生する見込みである。

**Q** 保育士確保の方策は考えているのか。

**A** 短時間勤務などの弾力的な雇用に取り組み。

## 人口減少が財政に及ぼす影響について

**Q** 総務省国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所によると、三条市の人口は今後10年間で1万人減少し、2040年では7万6413人という数字が出ている。この予想通りになったときの財政状態はどのようになっているのか。また、この状態をどのように受けとめていくのか。

**A** これまで国も人口減少社会の進行を踏まえ、社会保障の見直しをはじめ、税制改正などの改革に取り組んでいる。毎年度のように財政運営に影響を

及ぼす制度改革が行われていることを捉えても、30年先の想定はあまりにも不確実なので、この場で不確実性の高いものに言及することは適切ではないと捉えている。

三条市としては、総合計画の策定に合わせて、ある程度の期間の財政見通しを立てた中で、毎年度の予算編成時には新たに組み込む事業や国の制度改革などを織り込んだ財政シミュレーションを作成している。

見込み可能な10年程度の予測を行い、財政負担や財政状況を把握し財政運営を行うとともに、決算時点において決算を踏まえた財政シミュレーションを作成し、財政をコントロールできているかどうか改めて検証している。

## 東京オリンピックピックホストタウン推進事業について

**Q** 三条市はホストタウンとしてコソボ共和国を応援しており、柔道チームの世界選手権事前合宿のサポートを通じ、市民の応援する気運を醸成するためにどのような事業展開を考えているのか。

**A** これから約1年コソボ共和国を知っていただくため、大使館職員の講演やコソボ料理の紹介などの交流

事業をホストタウン実行委員会と検討する。



コソボ共和国柔道選手

## さんじょう一番星育成事業について

**Q** さんじょう学びのマルシェ、スポーツの一番星育成事業および文化・芸術の一番星育成事業について、今年度の状況と今後の展開はどうか。

**A** 日曜マルシェは定員100人に106人、土曜マルシェは定員300人に172人の応募があり、今後土曜マルシェを中心にPRを行う。スポーツは、個人と団体を合わせて29件の申請があり、補助要件に該当する26件に交付する。文化・芸術の補助事業は、応募20人に対して14人、ピアノ教室は応募6人に対し

## 自転車保険加入の推進について

**Q** 自転車保険加入の義務化や努力義務の促進を求める条例を策定した自治体の広がりがあるが、どう認識しているか。

**A** 保険への加入は大切と考える。交通安全教室を引き続き行い、通勤・通学の時間帯に街頭指導などで交通安全意識の啓発に努めていきたい。

## 大型公共工事めじろ押しのめどが立ったと判断するのにかについて

**Q** 三条技能創造大学、三条看護・医療・歯科衛生専門学校、帯織住宅団地「帯織街苑」、栄の工業流通団地、三条市体育文化会館および旧三条小学校跡地の図書館等複合施設はいずれもめどが立っており、市長の新たな政策的決断を必要とする事業は見当らないと思うがどうか。

**A** 一定のめどについては総合的に判断する。

## 消防ポンプ車等の中古車両購入について

**Q** 車両の入れ替えの際、中古車両での対応を考えているのか。

**A** 完全な機能を有した新規車両でお願いしたい。

## 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備の要望と今後の方針について

**Q** 県央5市町村長とともに国道403号三条北バイパスの促進や石上大橋下流橋の建設など、病院開設に合わせたアクセス道路等の整備促進を県に要望したということだが、今後の方針と三条市独自の取り組みはあるのか。

**A** 国道403号三条北バイパスや石上大橋下流橋の事業促進などの要望は、期成同盟会の他さまざまな機会を通じて国や県に要望を行っている。また、市単独で行うより関係市町村との連携による活動がより高い効果が期待できると考えている。

## 前市長から國定市長への自宅贈与の疑惑について

**Q** 一般市民から1000万円もの価値がある土地、建物を市長がただでもらうということは通常考えられない。何かあったのか。

**A** 地方自治法で議員は他人の私生活に触れる言論をしてはならないと規定されている。私自身、不正行為はしていない。

## 市長の辞任時期について

**Q** 市長をいつ辞められるのか。

**A** 国政に関しては正式に決まったものではなく三条市長として申し上げることはない。市長である限り全力で市政の運営に当たっていく。

## 栄の工業流通団地の造成事業に合わせた国道8号線の単線区間の解消の見通しについて

**Q** 平成15年に土場地内から須頃石上大橋交差点間4.5キロメートル4車線化が完了し、渋滞は劇的に改善された。栄地域の単線区間5.1キロメートルの複線化の計画と見通しはどうか。団地の分譲開始に合わせた早期の4車線化に向けた具体的な取り組みはどうか。

**A** 猪子場新田地内、一ツ屋敷新田地内で4車線化工事が行われているが、国の予算の関係から完成年度を示すのは難しい。工業流通団地の分譲開始までの完成と残る区間の事業着手を、関係機関と連携して要望して行きたい。

## 高齢者福祉の在り方と在宅介護の行方について

**Q** 当市の高齢化の動向についてどう認識しているか。

**A** 高齢者人口、要介護認定者の増加が見込まれる中、平成29年度に実施した高齢者実態調査でも6割を超える方が住み慣れた地域で暮らした



三条市地域包括ケア総合推進センター

いと回答していることから、必要な介護施設の整備に合わせ、在宅で療養されている方への医療、介護、生活支援サービスを安定的に提供する体制が急務と捉えている。

**Q** 地域包括ケアシステムの推進に係る具体的取り組みはどうか。

**A** 地域包括ケア総合推進センターを中心に一層の取り組みを推進している。医師会職員と市職員が一体となって業務を進めることや、歯科医師会、薬剤師会などによる総合窓口を設置し、在宅医療、介護の連携を推進するための多職種連携体制の推進、認知症の方への支援体制の整備、介護を補完する新たな生活支援の仕組みづくりに取り組んでいる。



総務文教常任委員会

野寺久雄 委員長

ふるさと三条応援寄附金

見直し後は減少傾向

〔議第2号〕

三条市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

今回の改正で、幼稚園や保育所、認定こども園などの保育料が無償化され、一方で今まで保育料に含まれていた給食の副食費を実費徴収することになる。副食費の実費徴収によって無償化の恩恵を感じない、あるいは負担が多くなる世帯が出てくるのではないかと懸念されるが、具体的にどうなるのか。

少なくとも今までの保育料を上げて副食費を徴収するという方はいない。

〔議第7号〕

令和元年度三条市一般会計補正予算

ふるさと三条応援寄附金について、三条市は返礼品の割合が高過ぎると国から言われ、返礼品率を下げているが、動向はどうか。



7月末時点の税務課の受け入れ分では、寄附件数で561件、寄附金額では1973万4000円となっている。返礼品割合を国の基準に見合うように3割以下にし、返礼品は地場産品のみと見直しを行った結果、昨年度同期と比較すると、寄附件数で3330件、金額では7457万6000円の減少となっている。

付託された議案のうち、議第2号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

市民福祉常任委員会

小林 誠委員長

介護医療院は医療と介護を一体的に提供する新たな介護保健施設

〔議第3号〕

三条市印鑑条例の一部改正について

結婚や養子縁組などで氏が変わっても旧氏の印鑑をそのまま使いたい場合は手続きが必要なのか。

現行の取り扱いでは氏が変わった場合は、本人に通知した上で印鑑登録を抹消し、改めて証明が必要なる場合は新たに登録をしてもらうことになっていたが、住民票に旧氏を併記するための請求手続きをすれば、氏が変わっても旧氏の印鑑を使用することができる。

〔議第7号〕

令和元年度三条市一般会計補正予算

国民年金被保険者の産前産後期間の保険料が免除となるが、免除になる産前産後の期間はどれくらいか。

単胎妊娠は、出産日の前月から4カ月間、多胎妊娠は出産日の3カ月前から6カ月間である。

介護基盤整備事業費補助金は、介護医療型施設から介護医療院への転



要介護者の長期療養のための医療と日常生活の世話及び介護を一体的に提供することができる新たな介護保健施設となり、今後増加が見込まれる慢性期の医療及び介護ニーズに対応できる。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

経済建設常任委員会

山田富義 委員長

鍛冶技術の高さを外向けに発信

〔議第7号〕

令和元年度三条市一般会計補正予算

造園業新ビジネスモデル創出支援委託料について、委託先が決まっているのか。

造園業、園芸業で実績を出されている方にコンサルタントをお願いし、セミナーの開催などを通じて、保内地区をはじめとする市内園芸業者や造園業者の方から成功モデルをつくってきたい。

地域の伝統産業振興のために映像を生かす努力が必要だと思いが、記録用として残すのか。

去年のジャパン・ハウス ロンドンのような海外を含めた外向けに日本の鍛冶技術の高さを発信していく。最終的には鍛冶職人の地位の向上、誇りの醸成、新たに鍛冶職人を目指す若者が出てくる可能性も考え、令和4年3月にオープン予定の図書館等複合施設の鍛冶ミュージアムでも情報発信していきたい。

〔議第9号〕

平成30年度三条市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

水道料金について、料金を引き下げるような考えはないのか。

水道ビジョンを策定し、それに基づいて事業運営を行っているため、経費の節減などを加味しながら事業を進めているところで、現在のところは水道料金の引き下げについて検討していない。

付託された全議案について、全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



市議会の会議の様子を自由にご覧いただけます

市議会の会議を見たいのですが… 各種会議を公開しています。 ※16歳未満の人は、成人の付き添いが必要です。

開催日は、市ホームページ、市議会だより等でお知らせします。

- 3、6、9、12月……★定例会（全議員で構成する会議。上程された案件を審議）
上程：会議の日程に組み入れて、議題とし、審議の対象とすること
必要に応じて……★臨時会（定例会では間に合わない場合に開催し、上程された案件を審議）
★各派代表者会議（各会派の代表者間の会議）
★議会運営委員会（議会の議事運営を協議）
★常任委員会（上程された案件を分野ごとに審査）
〔総務文教、市民福祉、経済建設の3委員会〕
★特別委員会（特定の案件の調査、研究を行う）
〔高等教育機関調査特別委員会〕
★全員協議会（市政に関する重要な事項等を協議または調整）
★常任委員協議会（常任委員会の所管に関する事項を協議または調整）
★議会報編集委員会（市議会だよりの編集）

どこに行けばいいのですか？ 定例会や臨時会の本会議は三条庁舎5階、その他は4階です。



# 決算審査特別委員会審査レポート



## 総務文教分科会

野崎久雄 主査

## 学校現場の多忙化解消に 今後もシステム改善図る

**Q** 一般任用職員は年々増やしていく考えなのか。

**A** 定員適正化計画に基づき来年度も若干増やしていく。来年度以降は、新たに定員適正化計画を策定する中で、職員の定年延長の問題や一般任用職員と正職員の役割の見直しについて検討していかなければならないと考えている。

**Q** 以前、公用車のリース車両を増やしていくという話であったが、リース車両の割合が増えている。リース車両の取り扱いをどう考えるか。

**A** リース車両の方が点検や車検などの費用で優位性があることから、徐々に増やしていきたいと考えている。

## 市民福祉分科会

小林 誠 主査

## 相談することが解決の糸口 市民なんでも相談室

**Q** 地域おこし協力隊の報酬は、当初予算で約6900万円を見込んでいたが、決算額は約5200万円であった。隊員を予定通り集められなかった。

**Q** 校務支援システムは、学校現場の多忙化の解消に生かしてもらいたいと思うが、こういうシステム委託の場合、学校のためになるような方向付けができていくと危惧しているが、その認識はどうか。

**A** 毎月委託業者、情報管理課とシステム改善のための情報交換を行っている。全て三条市が必要とする帳票にカスタマイズしており、有効に事務処理ができていく。今後も現場のイニシアチブが反映できるようシステム改善を図っていききたい。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

ということか。また、事業開始以来の受け入れ人数と任期終了後の三条市への定住者は何人か。

**A** 当初28人の採用を予定していたが、24人の採用となった。地域おこし協力隊事業は、平成27年度から実施しており、これまでに51人の受け入れを行い、8人が任期終了後三条市に定住している。

**Q** 消費者保護事業について、特殊詐欺についての相談もあると思うが、実際に被害に遭われた方からの相談はあったのか。

**A** 市民なんでも相談室では、消費生活相談件数が243件あり、その中で、特殊詐欺までにはいかないが、「こういう手紙が来た」「変な電話がかかってきた」などの相談も多くある。まずは相談してもらうことが解決の糸口であり、市民なんでも相談室の存在について周知を図っていききたい。

**Q** 粟ヶ岳スカイランニングは、地域も盛り上がり大盛況であった。今後も継続事業として取り組んでいくのか。

**A** 下田地域を魅力あるものにするため、今後も取り組んでいきたい。来年も世界大会を開催する予定である。

認定第1号について、賛成多数で認定すべきものとした。

## 経済建設分科会

山田富義 主査

## ICT利用の被害防止装置等で 人的被害等の防止に効果

**Q** ICTを利用した被害防止装置等があるが、成果は現れてきたか。

**A** 鳥獣が近づいた時に光や音等で回避させる装置と箱わなによる捕獲状態を発信するシステムがあり、人的被害等防止の効果に役立っている。

**Q** 自宅に居ながら稼働操作できる点で熊の捕獲に有利だと考えるが、今後取り入れる計画はあるか。

**A** 見回りの負担軽減に寄与できるものであるが、監視員や猟友会員が直接監視することも重要であるので並行しながら鳥獣対策に当たりたい。

**Q** 商工業活性化事業費の番組制作委託料はどんな内容か。市の事務としてしなければならないのか。

**A** 市が取り組んでいる創業塾ポイントキアを受講し、市内で創業、起業した店舗について、燕三条エフエム放送でPRを行うことで後押しを行い、新規顧客開拓につなげていきたい。

**Q** 社会資本包括的維持管理事業が始まって2年経つが、課題は何か。

**A** 一定のエリアでは仕事のポリユ

ムが小さ過ぎるという意見があった。現在の道路や公園のパトロール、水路等の維持管理のみならず、もう少し業務分野を広げてもらえれば新しい雇用につながると受託業者から意見があった。

認定第1号は賛成多数で、認定第2号は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。



## インターネットで市議会の模様を配信しています

定例会や臨時会の本会議の模様は、録画中継でご覧いただけます。なお、録画中継は正式な会議録の公開前に、本会議での議員や市長等の発言を動画で配信するものです。



### タブレットの場合

三条市ホームページアドレス <https://www.city.sanjo.niigata.jp/> から **MENU** をタップ

インターネット会議中継  
三條市議会インターネット  
会議中継トップページへ  
をタップ

視聴したい会議を選択して  
ご覧ください。  
(検索は会議名、議員名、  
会派名、質問項目を対象と  
しています。)

# 議 会 日 誌

## 7月

- 2日 埼玉県本庄市議会視察来条 7名
- 5日 市民福祉常任委員協議会
- 10日 自由クラブ行政視察  
～12日(石川県白山市、小松市、加賀市)  
秋田県横手市議会視察来条 10名
- 16日 議会報編集委員会  
三市議会議員合同研修会(燕市)
- 22日 地方議会総合研究所セミナー〔無所属〕(東京都豊島区)
- 23日 議会報編集委員会  
宮崎県都城市議会視察来条 8名
- 24日 清風クラブ行政視察  
～26日(東京都世田谷区、北海道函館市、江別市)  
地方議会総合研究所セミナー〔公明党議員団〕(東京都豊島区)
- 滋賀県近江八幡市議会視察来条 11名
- 29日 議会報編集委員会
- 30日 北海道苫小牧市議会視察来条 4名
- 31日 千葉県四街道市議会視察来条 7名

## 8月

- 1日 大分県日田市議会視察来条 9名
- 3日 加茂市議会視察来条 6名
- 6日 重慶市巴南区友好都市締結記念及び友好都市締結25周年記念表敬訪問〔自由クラブ、清風クラブ〕  
～10日(中華人民共和国重慶市巴南区、鄂州市)  
中越地区市議会合同議員研修会(燕市)
- 7日 第19回地方から考える社会保障フォーラム〔自由クラブ〕～8日(東京都中央区)  
和歌山県橋本市議会視察来条 8名
- 8日 児玉郡市広域市町村圏組合議会視察来条 20名
- 9日 京都府京都市会視察来条 16名
- 18日 上越市議会女性フォーラム〔公明党議員団〕(上越市)
- 19日 地方議員研究会研修〔無所属〕  
～20日(東京都中央区)

## 12月定例会日程

- 12月 3日(火) 本会議〔提案説明〕
- 4日(水) 本会議〔大綱質疑～委員会付託〕
- 5日(木) 本会議〔一般質問〕
- 6日(金) 本会議〔一般質問〕
- 9日(月) 本会議〔一般質問〕
- 10日(火) 市民福祉常任委員会
- 11日(水) 経済建設常任委員会
- 12日(木) 総務文教常任委員会
- 17日(火) 本会議〔委員長報告～採決〕

- 20日 長野県千曲市議会視察来条 5名
- 22日 香川県三豊市議会視察来条 6名  
新潟県市議会議長会秋季定期総会(燕市)
- 23日 北海道北広島市議会視察来条 3名
- 27日 議案概要説明会  
議会運営委員会
- 30日 地方議員研究会研修〔無所属〕(東京都新宿区)

## 9月

- 2日 議会運営委員会  
本会議〔決算審査特別委員会設置～委員選任、提案説明〕  
決算審査特別委員会  
各派代表者会議
- 4日 経済建設常任委員協議会
- 5日 本会議〔大綱質疑～委員会付託〕
- 6日 本会議〔一般質問〕
- 9日 本会議〔一般質問〕  
各派代表者会議  
議会運営委員会  
本会議〔一般質問〕  
議会報編集委員会
- 11日 市民福祉常任委員会  
市民福祉常任委員協議会
- 12日 経済建設常任委員会  
経済建設常任委員協議会
- 13日 総務文教常任委員会  
総務文教常任委員協議会
- 17日 決算審査特別委員会(市民福祉分科会)
- 18日 決算審査特別委員会(経済建設分科会)
- 19日 決算審査特別委員会(総務文教分科会)
- 24日 決算審査特別委員会  
各派代表者会議  
議会運営委員会
- 26日 本会議〔委員長報告～採決〕

## 編 集 後 記

芸術の秋、スポーツの秋、味覚の秋。皆様はどんな秋をお過ごしですか。

今年は災害の秋となってしまいました。台風15号・19号で被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

防災・減災・そして復興がますます重要になっています。まずは、「自分の命は自分で守る」ことから点検してみませんか。



この印刷物は、  
植物油インクと再生紙を  
使用しています。

発行/三条市議会 編集/議会報編集委員会 責任者/議長 阿部銀次郎  
三条市議会事務局  
電話:0256-34-5583 Fax:0256-33-8861  
<https://www.city.sanjo.niigata.jp/> E-mail:gikaij@city.sanjo.niigata.jp

## 議会報編集委員会

委員長/笹川信子  
副委員長/馬場博文  
酒井 健 坂井良永 長橋一弘